

大谷翔平 MVP受賞

朝日新聞

2021年(令和3年)
11月19日
金曜日

特別号外

二刀流開花 46本塁打 9勝



投打の「二刀流」で歴史的な活躍を見せた大リーグ・エンゼルスの大谷翔平(27)が18日(日本時間19日)、全米野球記者協会の担当記者の投票で、今季のアメリカン・リーグの最優秀選手(MVP)に満票で選ばれた。日本選手では、2001年のイチロー(マリナーズ)以来2人目。

大谷は今季、打者としてリーグ3位の46本塁打を放ち、走っても同5位の26盗塁をマーク。投手としては、チーム最多の9勝(2敗)を挙げた。

MVPの最終候補3人に残っていた大谷は、48本で本塁打王のゲレロ、45本塁打のセミエン(ともにブルージェイズ)を抑えて最有力候補とされていた。投票は球団の本拠がある都市から各2人が投票。1位から10位までの選手を記入し、1位14点、2位9点、以下順位が下がると1点ずつ減り、合計得点で争われた。

MVPおめでとう!

三菱UFJ銀行はオフィシャルスポンサーとして
大谷翔平選手を応援し続けます

Ahead!

大谷翔平が前に進むチカラ

世界が進むチカラになる。



三菱UFJ銀行
×
大谷翔平選手



特別ストーリー朝日新聞デジタルで公開中!